

立志大成



社会人としてのマナーアップ講座

10月6日(火)にホテルアミューズ富岡の副支配人の小金澤様をお迎えして、「マナーアップ講座」を開きました。これは、2学年の総合的な学習の時間における、職場体験学習の一環として予定していたものです。今年度、職場体験学習は中止になってしまいましたが、この講座の内容は、生徒たちが社会に出ていくうえで非常に大切なものであると考え、単独で開催しました。この講座で、普段の教室の授業ではなかなか学ぶことができない「社会人としてのマナー」を「接客のプロ」から学ぶ機会を得られて、生徒にとって大変有意義な時間であったと思います。

小金澤様からは、分かりやすい資料を提示していただき、大変丁寧に説明していただきました。特に「場面におけるお辞儀の角度」のように、普段気にしたり考えたりしないことも学ぶことができました。実技を交えての講座であったため、生徒にとってもとても分かりやすいものであったと感じます。今後の学校生活や社会生活で、また来年の高校入試の面接で、さらに社会に出ての対応で役立ててほしいと願っています。



今回、司会進行、案内、謝辞などの運営のすべてを、学級代表が行いました。今年度になって初めての試みではありましたが、当日は落ち着いて立派にできました。質疑応答では、たくさんの質問も出て、小金澤様も丁寧に答えていただき、学びがさらに深まりました。

最後に、2年生の素晴らしかったことをお知らせします。講座の前半が終わり10分間の休憩を取りました。そして、休憩の時間が終わりに近づいたとき、誰が声をかけるでもなく、自然に各自がもとの場所へ戻り、姿勢を正して開始のチャイムを待っていました。これは、2年生全員が、自発的に「時を守る」を見事に実践できた瞬間でした。2年生の規範意識の高さと意欲と成長を感じ大変嬉しく頼もしく思いました。

2年生は、素晴らしかった！

～生徒の感想から：たくさんの方が学べました◎～

○私は、小金澤さんの話を聞いて、「なるほど～」と思うことがたくさんありました。ノックは、3回だということを初めて知り、びっくりしました。

○礼には種類があることは知っていましたが、15、30、45度とそれぞれ違う意味の礼があるとわかりました。

○人を待つとき（手を組むとき）は、左手が上になるということとそれには意味があることを初めて知りました。

○今日の話で「無理な約束はしない」という言葉が心に残りました。自分は簡単に「できるよ。」と言ってしまうことが多々あるので、もう少し真剣に判断しようと思いました。

○小金澤さんの話を聞き、初めて会う人へは第一印象が大切だと思いました。これからは身だしなみには気をつけていきます。

○今日の話で、電話で話すときも笑顔で姿勢を正すことが大事だということを知りました。心に残る話が聞けて本当に良かったです。

○今日習ったことは、必ず大人になってから必要となると思うので、忘れずに将来に活かしていきたいです。

○将来の入試や就職先で、今日学んだことを使って、他人を敬いたいです。



※集金日の変更：先日お知らせした10/14は駅伝大会でした。集金を安全に行うために集金日を10/15に変更いたします。何卒ご理解のほどよろしくお願い致します。